

大学

企画課管理用 研 一 A 一 2

推進主体	経済学研究科
責任者	経済学研究科委員長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
研	一	A	②大学院学生の研究環境の整備	令和 4 年度	令和 7 年度	なし

① 目的・内容

新東1号館の新設に伴い、大学院学生のための研究室を整備する。さらに分析ツール利用を学内に限定せず、自宅でも実証分析が行えるように、学外利用のソフト購入を予算内で実現するなど、院生や社会人院生の研究環境をさらに改善する。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

博士前期課程及び博士後期課程合わせた人数と計算用PCのスペースを確保するとともに、学外での研究環境も改善する。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定		院生室内の設備・備品の概要を決定	机等搬入、PC等移設、供用開始				

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1							
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2							
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
(2022年度) 令和4年度	院生室内の設備・備品の概要を決定	大学院生の研究の質を高めるため、教員との共同研究用に計算用の高性能PCを、特別研究費を利用して購入 ★進捗段階:「実施展開」
(2023年度) 令和5年度	東1号館の院生室の利用開始	大学院生のデータ分析能力を高め、実証分析研究を推進するため、統計ソフトの自宅での利用を可能とする契約を購入する予定である。 ★進捗段階:「実施展開」
(2024年度) 令和6年度	東1号館の院生室の利用開始	経済学研究科では院生の数が多くないため、現時点では東2号館の院生室利用のみを行っている。大学院生に統計ソフトの自宅利用を可能とした結果、今年特定課題研究を提出する3名の修士院生は論文内で様々な実証研究を行っており(中間報告会での報告にて確認)、一定の成果を上げていると思われる。 ★進捗段階:「実施展開」
(2025年度) 令和7年度	東1号館の院生室の利用開始と院生の研究環境の改善	